



千駄ヶ谷日本語教育研究所付属日本語学校では、10月26（木）と10月27日（金）と10月30日（月）の三日間計4回にわたり、全校生及び教職員による地震、火災を想定した防災避難訓練を行いました。

防災避難訓練は、地震や火災等の災害が発生したときに、留学生のみなさんが自分で自分の身を守ることができ、日本で安全な留学生活を送れるようにすることと、防災の意識を高めることを目的として、2019年まで毎年実施してきました。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、一旦中断していた防災避難訓練が、今年で4年ぶりに再開することになりました。

10月26（木）と10月27日（金）の防災避難訓練では、警視庁戸塚警察署の方々が避難時の交通整理や避難所までの誘導を行ってくださいました。さらに、東京消防庁新宿消防署の方々が立ち会い、消火器の使い方など細かいご指導をしてくださいました。学生達は初めての消火器訓練に真剣に取り組んでいました。普段の授業では体験できないことを学ぶことができました。

また、消防署の方々からは、11月9日から11月15日までの一週間、秋の火災予防運動を実施することや、実施の目的＝火災が発生しやすい時季を迎えるにあたって、防火防災意識や防災行動力を高め、火災の発生を防ぐ、火災から尊い命と貴重な財産を守ること、についてもご指導いただきました。

今回の防災避難訓練を通じて、地震や火災の発生の災害に備え、正しい行動と対処方法を学びました。きっと今後の日本での勉学や生活に活かせると思います。



# 防災避難訓練

